

# ULT通信

あると

2016. 2. 15号 / vol. 61 発行 / ULT 図書館司書

今年度最後のULT通信です。今回は新年度を迎えた4月発行になります。ULTは3月中も開館していますから、開館カレンダーを確認して、読書や学習に利用してくださいね。

プールでつくる小人の足あとなど、あーやったなーという部分があったりして、中学生の時を思い出してしまいます。



ぎぶそん/伊藤たかみ



文学だからこそできることだと思った。映像化されてもそれは『変身』ではないんじゃないか…?

変身/フランツ・カフカ



あまりにも細かい所まで計算して求めたり予測したりしているものだから、この地球上で求められないものなどないのではないかと感じてしまう。

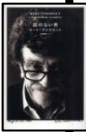
ゾウの時間ネズミの時間/本川達雄

暗い印象の物語だけど、どこか毒々しいファンタジーにも感じてしまう。「異空間」が楽しめる物語です。

人間失格/太宰治



普段自分が考えていることがたくさん書いてあってびっくりした。個人的にULT百選の中で一番出会えてよかったと思える本。



国のない男/カート・ヴォネガット

ニューホライズン(英語の教科書)を使っていた人なら多分わかる『Can anyone hear me?』の元になったお話『おーいでてこーい』

(中略)

オチが秀逸。星新一さんにハマったきっかけになった作品です。

ねらわれた星(星新一ショートショートセレクション)/星新一



短歌ってこんなのでいいんだ!!

「青空の入道雲はそれはもう

配色としてドラえもんです」

ドラえもん短歌/枅野浩一



全力で「高校生」をEnjoyしている彼らに憧れつつも、自分の考えをしっかりと持っていて、それぞれ違った未来を描きながらその為に頑張っている友達を学生生活でつくれた所は自分と同じだなんて思っていました。笑

レヴォリューション No.3/金城一紀



どの登場人物の間も解決を迎えてはいないし、ハッピーエンドとは言い難いラストだ。しかし、だからこそ一概に「答え」を提示できるほど簡単に作られてはいない「人間」というものがありありと鮮明に描き出されているように思う。

深い河(ディーブ・リバー)/遠藤周作



漫画みたいに一晩寝たら元通り!なんて展開はないんだろうなあと思うと、なんだかむくわれない。(人間が虎になるというのも十分非現実的だが)いっそ自我がなくなってしまう李陵も悩まずに済んだのだろうな…。 李陵・山月記/中島敦



## ULT 百選・読書マラソン ハーフ賞おめでとう! 3年生受賞者コメントカード セレクション!!

今年はハーフ賞(50点以上読了)の受賞者が4名!

この4名には、表彰状と2000円分の図書カードを

贈呈します。おめでとうございます! 受賞者の

コメントカードの一部を原文(直筆のイラストも)のまま

紹介させていただきます。思わず読んでみたくなる

コメントばかりですね。読書マラソンにまだ参加していない

1, 2年生の皆さんもぜひチャレンジしてください!

オーバーすぎるのかも  
しれないけれど先生の  
いなくなった学校は  
こんな感じなのかと  
思ったり



蠅の王/ウィリアム・  
ゴールディング



以前に読んだ事があるような  
ストーリーが多く感じて「はて?」  
と置いていたが、多分、彼の  
作品に多くの人が影響を受け  
て、その人達が出した本が彼の  
作品に似ているのだと思いまし  
た。屋根裏の散歩者

(江戸川乱歩全集①)

江戸川乱歩



怪極! 怪案

# ULT NEWS

## ●Your ULT Style 白熱のビブリオバトル開催！果たして今回のチャンプ本は！？

1月30日(土)、ビブリオバトルが開催されました。見事チャンプ本に選ばれたのは、『小説家の作り方』（野崎まど・アスキーメディアワークス）でした！



## ●芸術の世界へ！アートコース美術展開催中

毎年恒例となっているアートコースの美術展が開催中です。ULTに足を踏み入れた瞬間、そこには浦学生による芸術の世界が広がっています。期間は2月26日までです！

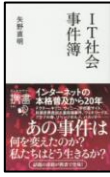


# 新着案内

1月の新着は72点です。一部抜粋で紹介します。

↓時事問題を扱った本から人気シリーズの最新作まで

タイトル	著者	出版社	請求記号
高校生のための東大授業ライブ 学問への招待	東京大学教養学部	東京大学出版会	002-トウ
空き家問題 1000万戸の衝撃	牧野知弘	祥伝社	365.3-マキ
IT社会事件簿	矢野直明	ディスカヴァー・トゥエンティワン	368.6-ヤノ
医学部受験の総合的研究	岩嶋宏恭	旺文社	376.8-イワ
空想科学読本 13~16	柳田理科雄	メディアファクトリー	404-ヤナ-13~16
面接の英語	有元美津世	ジャパンタイムズ	837.7-アリ



↓人気作家の新作入りました！小説・エッセイなど

タイトル	著者	出版社	請求記号
ノーベル文学賞にもっとも近い作家たち いま読みたい38人の素顔と作品	青月社	青月社	902.8-セイ
だれもが知ってる小さな国	有川浩	講談社	913.6-アリ
マリアビートル	伊坂幸太郎	角川書店	913.6-イサ
都会のトム&ソーヤ 13 黒須島クローズド	はやみねかおる	講談社	913.6-ハヤ-15
職業としての小説家	村上春樹	スイッチ・パブリッシング	914.6-ムラ



# コラボde11レ



第61回は、笹木萌が担当です。お題は「旅立ち」。谷川俊太郎さんに

「さようなら」という詩があります。「ぼくもういかなきゃなんない／すぐいかなきゃなんない／どこへいくなのかわからないけど」。こんなふうにはまる短い詩です。

「ひとりでいかなきゃなんない／どうしてなのかしらないけど」ともあります。ひらがなで、簡単な言葉で書かれていますので、「ぼく」は幼い少年のように思えます。小さな子どもが行き先もわからないまま一人ぼっちで旅立つのはなぜだろう。理由や目的はわからないけれど、どうしても行かなければならないこと、行く気持ちが固まっていることは、強く伝わってきます。

「おとうさん」「おかあさん」にも「さようなら」して「ぼく」がどんなふう生きるのか、このあと短い文が連なっていて、「ぼくすききらいいわずになんでもたべる／ほんもいまよりたくさんよむとおもう」という箇所が私は好きです。生きていくことの中に本を読むことが含まれているのがうれしいのと、他の箇所は断定的なのに本についてだけ「おもう」とちょっと曖昧にしてあるところがたのしい(笑)。

生きることに對する真摯な意志が子どもの口調で語られると、なんだか涙が出そうになります。生きていくことは、もとあったものに「さようなら」することだから切ない気持ちになるけれど、そうする以外に道はないし、その先に新しいなにかが期待されてさみしいだけじゃないことを教えられます。

わたしはこの詩を歌で知りました。俊太郎さんの詩に、息子で音楽家の谷川賢作さんが曲をつけ、歌手の矢野顯子さんがピアノで歌っています。よい相乗効果が生まれていて、素敵な曲です。「さようなら」が収録されている詩集『はだか』も、元奥さんの佐野洋子さんが絵を添えていて味わい深い。というわけで次回のお題は「コラボ作品」にします。2人以上いたからこそ生まれた作品を教えてください。